

## 「保健」シラバス

学科	普通科・商業科	学年	2年	類型		組	1～5組	単位数	1
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）								
副教材等	現代高等保健体育ノート（701）（大修館書店）								

### 1 学習の到達目標

<p>① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>② 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>③ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

### 2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けているか。	(2)(3)(6)
思考・判断・表現	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えているか。	(2)(4)(5)
主体的に学習に取り組む態度	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしているか。	(1)(2)(4)
評価方法	主な評価項目	
活動観察	(1)授業態度 (2)発言分析	
ノート提出	(3)課題の内容・提出状況	
グループ活動	(4)グループワーク参加状況	
発問評価	(5)授業等での発表	
定期考査	(6)評価問題 学期・学年末考査	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評 価 項 目
一 学 期	3 生涯を通じる健康  ライフステージと健康  思春期と健康  性意識と性行動の選択  妊娠・出産と健康  避妊法と人工妊娠中絶  結婚生活と健康  中高年期と健康  働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと健康の関連について理解する。</li> <li>・思春期における体の変化や心の発達にかかわって起こる問題について理解する。</li> <li>・性意識の男女差や性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを理解する。</li> <li>・妊娠、出産の過程における健康課題について理解する。</li> <li>・家族計画の意義と適切な避妊法及び人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響を理解する。</li> <li>・結婚生活を健康的に送るため必要な考え方や行動を理解する。</li> <li>・加齢に伴う心身の変化や高齢社会に必要な社会的な取組について理解する。</li> <li>・働くことの意義と健康のかかわりについて理解する。</li> </ul>	(4)(5)
二 学 期	労働災害と健康  健康的な職業生活  4 健康を支える環境づくり  大気汚染と健康  水質汚濁・土壌汚染と健康  環境と健康にかかわる対策  ごみの処理と上下水道の整備  食品の安全性  食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働災害の種類とその原因について理解する。</li> <li>・職場がおこなう健康に関する取り組みや余暇を積極的にとることの意義について理解する。</li> <li>・大気汚染の原因と健康への影響、地球規模の健康問題について理解する。</li> <li>・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響、複合的な環境汚染の発生のしくみについて理解する。</li> <li>・環境汚染による健康被害を防ぐ方法、産業廃棄物の処理について理解する。</li> <li>・ごみ処理の現状やその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題について理解する。</li> <li>・食品の安全性と健康のかかわり、今日的課題について理解する。</li> <li>・食の安全性を確保するための行政や製造者、個人の役割について理解する。</li> </ul>	(4)(5)
三 学 期	保健サービスとその活用  医療サービスとその活用  医薬品の制度とその活用  さまざまな保健活動や社会的対策  健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行政の役割や保険サービスの活用について理解する。</li> <li>・医療保険のしくみや様々な医療機関の役割について理解する。</li> <li>・医療品の正しい使用方法や安全性を守る取組について理解する。</li> <li>・国際・民間機関などの保健活動や行政機関による社会的対策について理解する。</li> <li>・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。</li> </ul>	

備考 (1)(2)(3)(6)については、全ての単元において評価項目として用いる。